

週間感染症情報

2017年42週 2017年10月16日より2017年10月22日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	1
百日咳	
溶連菌感染症	11
手足口病	13
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	33
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	7
ヘルペス性口内炎	1
アデノウイルス感染症	4
RSウイルス感染症	11
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	
インフルエンザA	
インフルエンザB	
A+B	

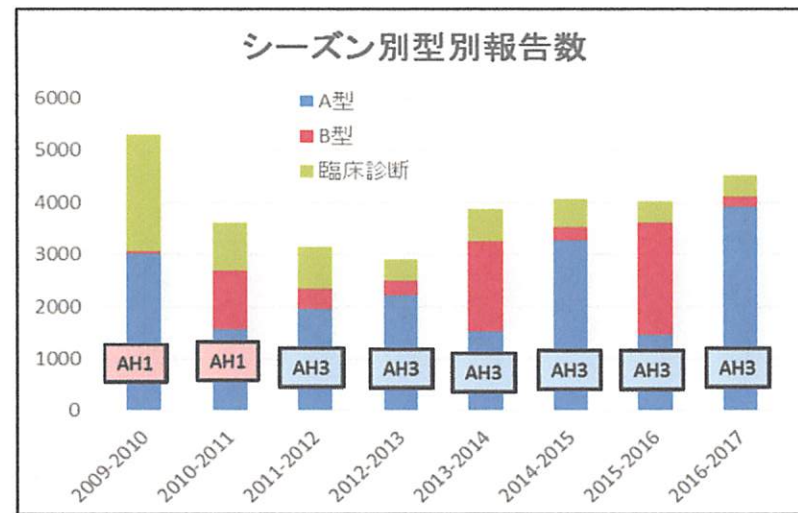
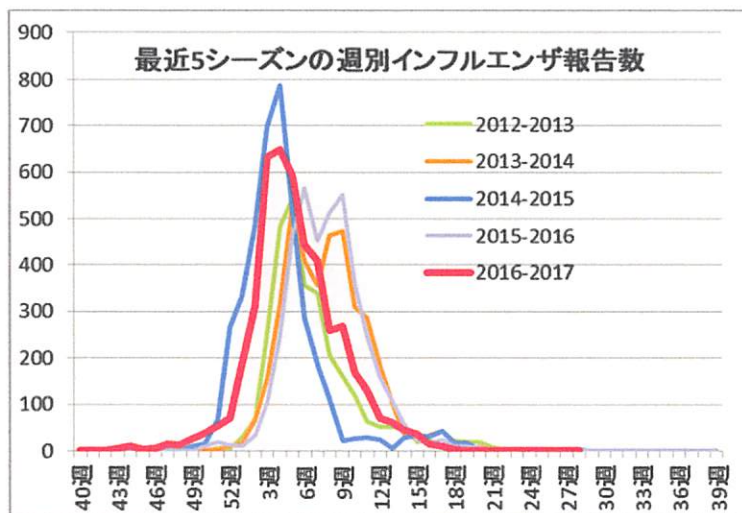
42週はインフルエンザの報告はありませんでしたが、今週になり報告が続いています。

教育委員会と吉備医師会の会員の先生方よりの報告によりますと、川西地区の小学校でインフルエンザBが複数の学年で報告されています。10月25日までに6年生2例、2年生1例、1年生1例 計4例です。

また、22日に倉敷の法事に出席した60代の男性がインフルエンザAと診断されています。周囲にかぜ症状の方がおられたとの事です。発熱・感冒症状ではインフルエンザを鑑別に入れて診察する必要があります。

南半球のオーストラリアではAH3(香港型)の大きな流行がありました。渡航歴や出張歴、周囲の同様の症状の患者の有無等、問診が大切です。例年12月に入ってから流行しますが、今シーズンは流行が早く始まりそうです。何型が流行するか予測は立ちませんが、インフルエンザワクチンはA型2種類、B型2種類の4種の混合ワクチンです。

感染性胃腸炎が増加しました。嘔吐を主とするノロウイルスによると思われる症例を見かけるようになりました。毎年、これから大きな流行が始まります。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)